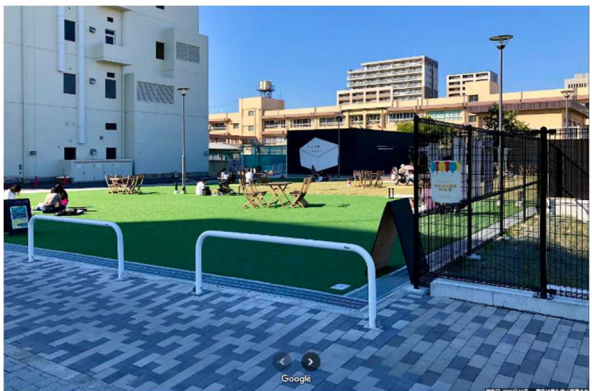
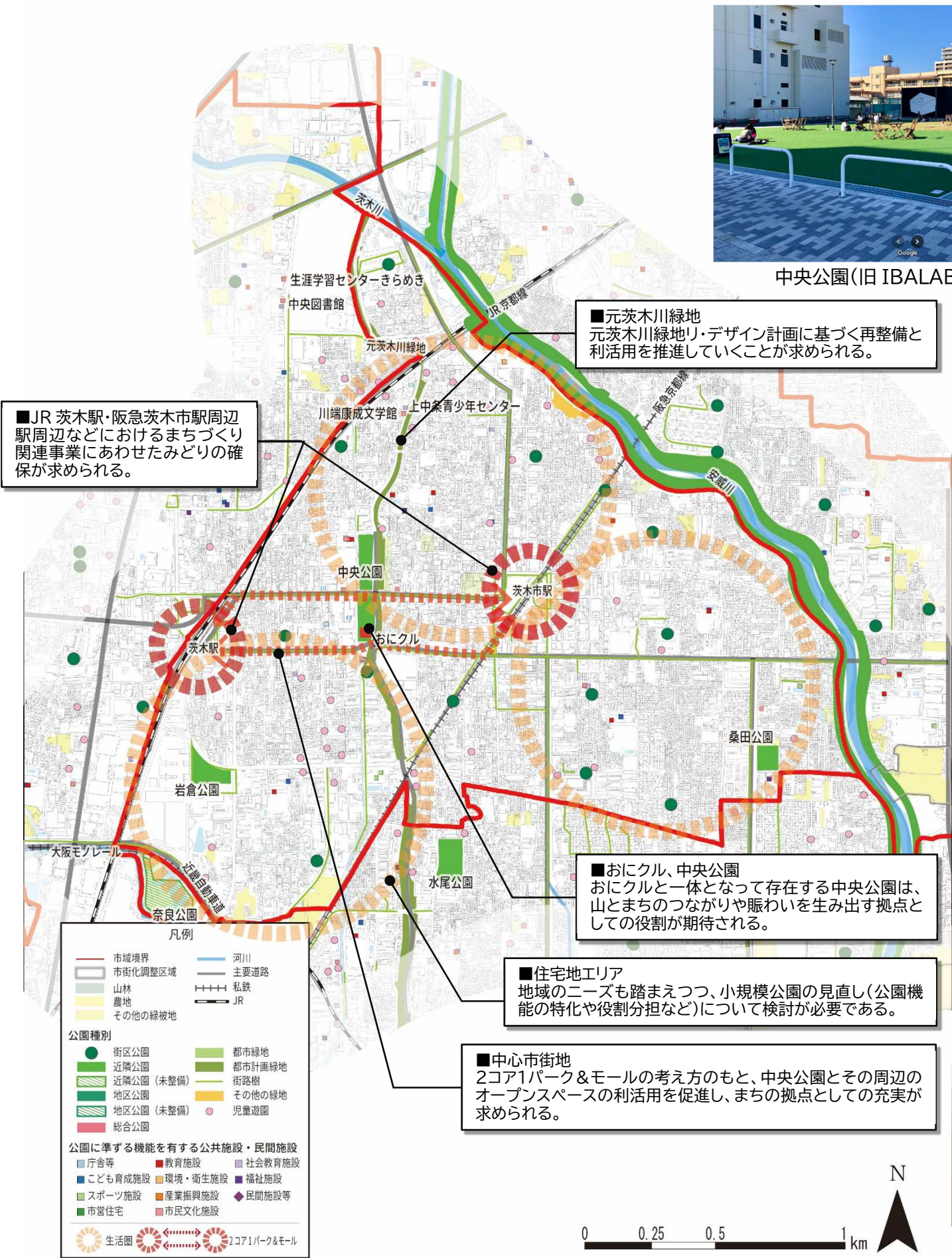


地域別みどりの特性・課題 / 1. 中央部地域



中央公園(旧 IBALAB@広場)①



中央公園(旧 IBALAB@広場)②



中央公園(グラウンド)



おにクル



おにクル(芝生広場)



元茨木川緑地(高橋周辺)



小規模公園(東中条第三児童遊園)



桑田公園



岩倉公園

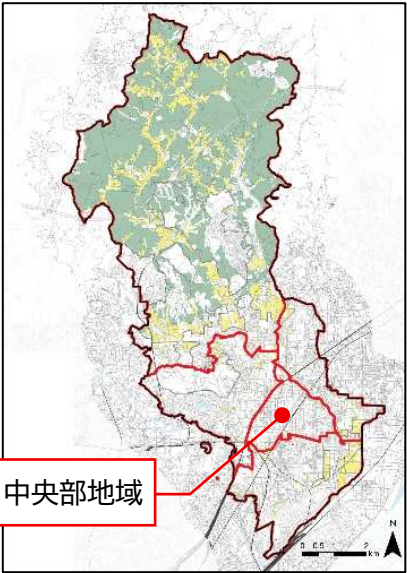
地域別みどりの特性・課題 / 1. 中央部地域

■特徴と課題(概要)

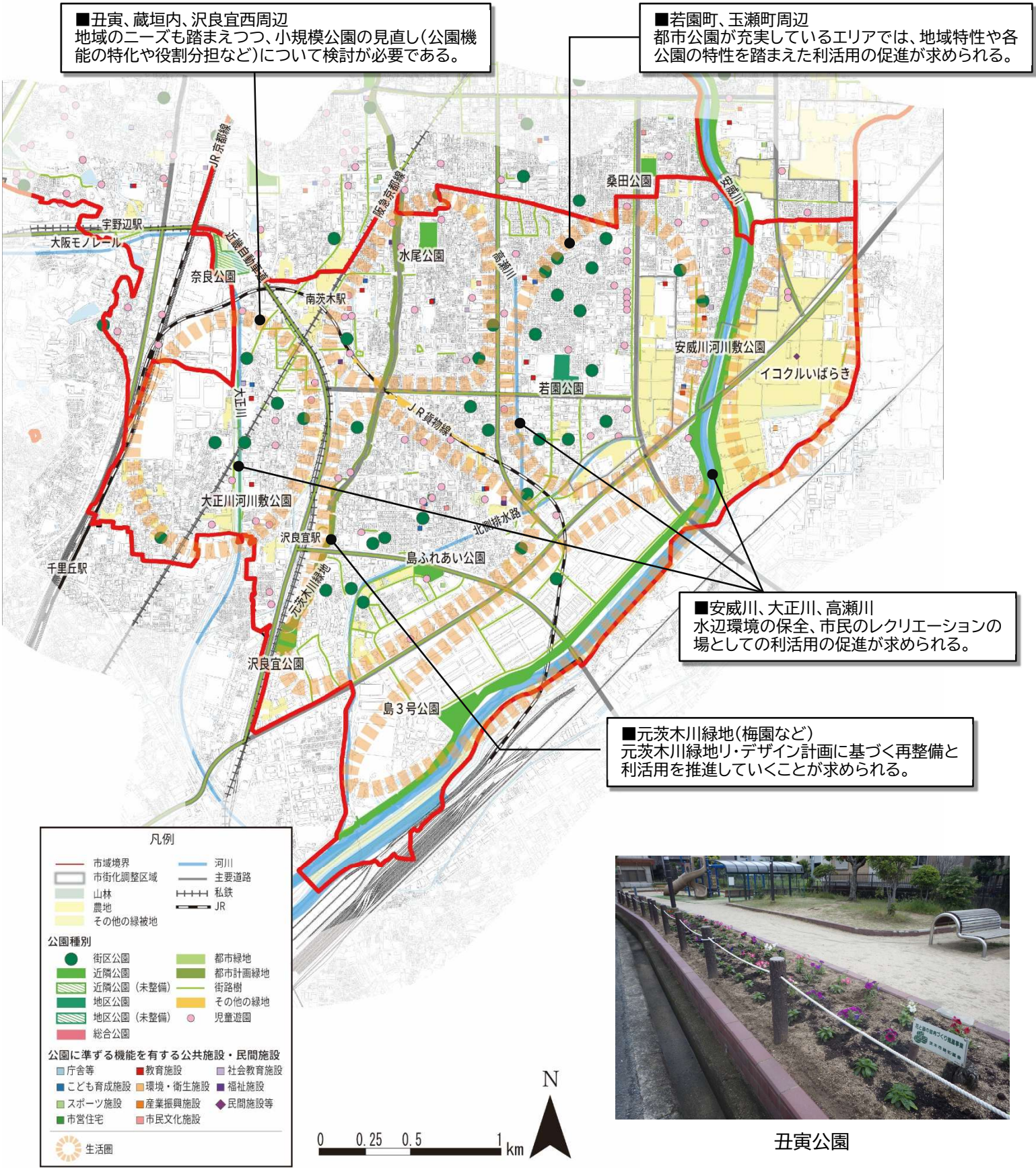
都市機能が高度に集積する本市の中心市街地でありながら、城下町の面影を残す既存集落が混在している。JR 茨木駅と阪急茨木駅を結ぶ中央通りと東西通りには街路樹が整備され、その中間地点に位置する市役所周辺には中央公園や元茨木川緑地といったみどりが集積している。さらに、文化・子育て複合施設「おにクル」がこれらのみどりと一体となり、様々な活動が創出される本市の新たなシンボルとなるとともに、山とまちをつなぐ本市の拠点としての役割が期待されている。一方で、住宅地には小規模公園等が点在しており、市民生活の中で身近に感じられるこれらのみどりの維持管理が課題となっている。

■特徴と課題(緑資源別)

緑資源	特徴	課題
①公園・緑地	●本市の緑の軸となる元茨木川緑地では、市民ニーズ等をふまえた再整備と利活用を推進するためリ・デザインの取組を進めている。 ●おにクルとともに再整備されたおにクル芝生広場は、2コア1パーク&モールの中間地点に位置する、本市を代表するまちの拠点として多くの市民に利用されている。 ●立命館大学キャンパスと一体的に整備された岩倉公園は、子どもから大人まで多くの市民に親しまれ、防災公園としての機能も有する地域の核としての役割を担っている。 ●桑田公園は地域の拠点として存在している。 ●小規模公園が近接して多数存在するエリアと、少ないエリアがみられ、配置状況に偏りがある。	●2コア1パーク&モールの考え方のもと、中央公園とその周辺のオープンスペースの利活用を促進し、まちの拠点としての充実が求められる。 ●おにクルと一体となって存在する中央公園は、山とまちのつながりや賑わいを生み出す拠点としての役割が期待される。 ●元茨木川緑地リ・デザイン計画に基づく再整備と利活用を推進していくことが求められる。 ●中心市街地以外の住宅地エリアにおいても、地域のニーズも踏まえつつ、小規模公園の見直し(公園機能の特化や役割分担など)について検討が必要である。
②山地・丘陵	—	—
③里地里山	—	—
④河川・水路	—	—
⑤農地・ため池	●生産緑地等の農地が存在し、都市にうおいを与えている。	●生産緑地の指定継続等による都市農地の確保が必要である。
⑥まちなかのみどり	●2コア1パーク&モールの考え方によるひと中心のまちづくりが進められている。 ●地区計画や建築協定、景観協定等の制度を活用した敷地内緑化等による良好な市街地環境の形成を図っている。 ●おにクルでは、屋上緑化など建物内においても積極的に緑化しており、市民が身近に緑を感じられる。	●公共施設や民間施設など、都市機能の誘導にあわせてみどりを確保することが求められる。 ●駅周辺などにおけるまちづくり関連事業にあわせたみどりの確保が求められる。 ●街路樹の適切な維持管理による景観形成により、歩きやすい、歩きたくなるストリートの創出が求められる。
⑦歴史・文化	●茨木神社の樹林は、隣接する元茨木川緑地とあわせて地域のシンボルとなるみどりとして存在している。 ●茨木城跡周辺の旧城下町や奈良町の既存集落では歴史文化を感じさせる街並みが残る。	●地域共有の財産として保全していく必要がある。 ●歴史・文化を感じられる景観形成にみどりを役立てる。
⑧活動	●社会実験の取組の蓄積 ●元茨木川緑地の利活用の推進に関する取組	●これまでの公園やオープンスペースの利活用に関する社会実験の成果を活かしながら、共創による利活用の促進を図る必要がある。 ●多様な主体による共創の取組推進を先導する取組の展開が求められる。
⑨その他	—	—



地域別みどりの特性・課題 / 2. 南部地域



若園公園



水尾公園



沢良宜公園



大正川河川敷公園



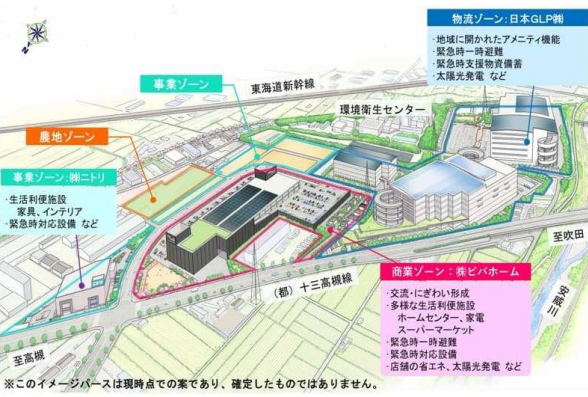
安威川河川敷公園



島3号公園



島ふれあい公園



イコクルいばらき

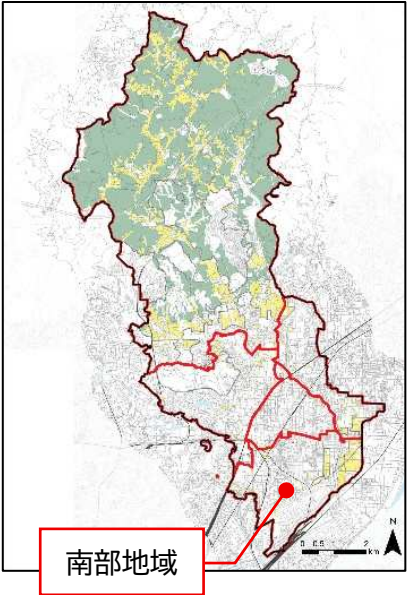
地域別みどりの特性・課題 / 2. 南部地域

■特徴と課題(概要)

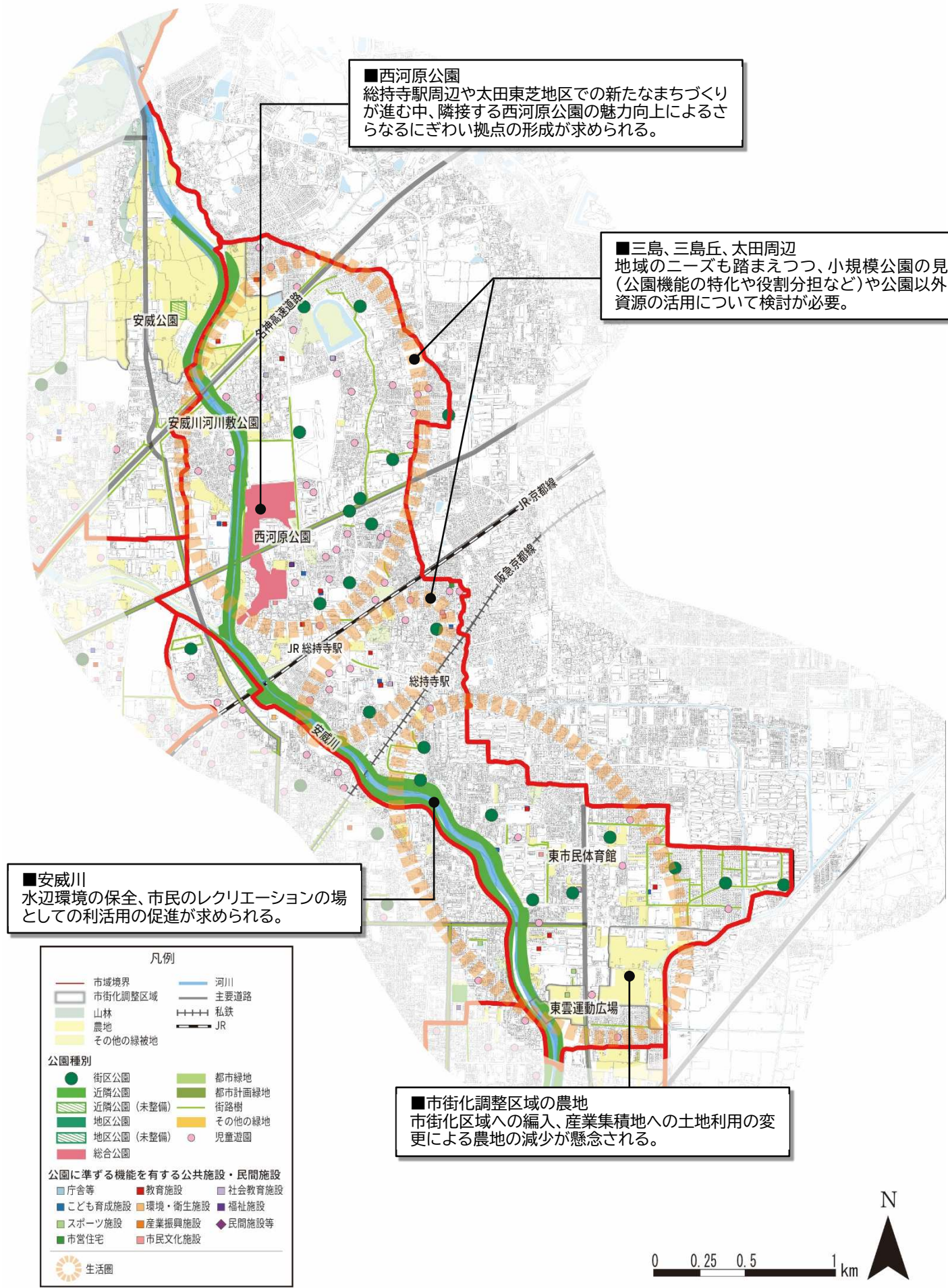
土地区画整理事業や大規模開発などで形成された住宅地が広がるとともに、幹線道路沿道には産業系の土地利用が集積し、近年では物流系企業の立地により土地利用に大きな変化が生じている。点在する既存集落の周辺には農地が残存し、市街化調整区域ではまとまった農地が都市部における貴重な自然環境として存在している。幹線道路や鉄道、河川がいくつも交差し地域を分断しているため、日常的な生活圏の範囲が限られる中、地域の拠点となる公園が身近に存在せず、小規模公園が近接して複数存在する地区が見られることから、地域のニーズも踏まえながら身近な公園のあり方について検討していく必要がある。

■特徴と課題(緑資源別)

緑資源	特徴	課題
①公園・緑地	●本市の緑の軸となる<u>元茨木川緑地</u>の南端部に位置しており、梅林や桜通りなど、地域に親しまれる緑として存在している。 ●幹線道路や鉄道、河川によって地域が細分化され、近隣公園や街区公園の存在状況が生活圏ごとに異なるなど、公園の配置状況に偏りがみられる。 ●バラ園のある<u>若園公園</u>、<u>水尾公園</u>や<u>島ふれあい公園</u>といった地域の緑の拠点となる公園が複数存在。 ●若園公園周辺には都市公園が多数存在し、本市の中でも特に公園が充実しているエリアである。 ●元茨木川緑地よりも西側では、都市公園は整備されているが面積規模が小さく、<u>小規模公園が多数存在</u>。	●元茨木川緑地リ・デザイン計画に基づく再整備と利活用を推進していくことが求められる。 ●地域のニーズも踏まえつつ、小規模公園の見直し(公園機能の特化や役割分担など)について検討が必要である。 ●都市公園が充実しているエリアでは、地域特性や各公園の特性を踏まえた利活用の促進が求められる。
②山地・丘陵	—	—
③里地里山	—	—
④河川・水路	●<u>安威川</u>が地域を縦断する水のネットワークとして存在している。 ●<u>大正川</u>や<u>高瀬川</u>が地域の身近な水辺環境として存在している。	●水辺環境の保全、市民のレクリエーションの場としての利活用の促進が求められる。
⑤農地・ため池	●市街化調整区域内には、まとまった規模の<u>農地</u>が存在し、広がりのある農地景観を形成しており、様々な多面的な役割を担っている。	●市街化区域への編入、産業集積地への土地利用の変更による農地の減少が懸念される。 ●農業従事者の高齢化や後継者不足により、農地の適切な維持・管理が困難になる事態が予測される。
⑥まちなかのみどり	●<u>府道茨木寝屋川線</u>や<u>高瀬川通り</u>では<u>街路樹</u>が整備され、環境改善やシンボル景観の形成に役立っている。 ●工場等、民間事業者による敷地内緑化を促進している。 ●南目垣において新たな生活拠点として「<u>イコクルいばらき</u>」が令和6年3月に整備された。	●街路樹のもつ環境改善、景観形成、防災など様々な機能を発揮できるよう、適切な維持管理が求められる。 ●公共施設や民間施設における敷地内緑化を促進していくことが求められる。
⑦歴史・文化	●丑寅や蔵垣内地区の既存集落では歴史的な街並みと屋敷の緑、神社の緑などが一体となって存在している。	●地域共有の財産として保全していく必要がある。 ●歴史・文化を感じられる景観形成にみどりを役立てる。
⑧活動	●丑寅公園では地域住民による花壇づくりが盛んに行われ、大正川ではアドプト・リバー(大阪)が実施されるなど、地域住民による活動が行われている。	●みどりの維持管理にかかわる人が減少する中、公園や河川、道路空間のみどりを適切に維持管理するためのしくみづくりが求められる。
⑨その他	—	—



地域別みどりの特性・課題 / 3. 東部地域



西河原公園



西河原公園(防災広場)



西河原公園(市民プール)



安威川河川敷公園



東雲運動広場(屋内)



東雲運動広場(屋外)

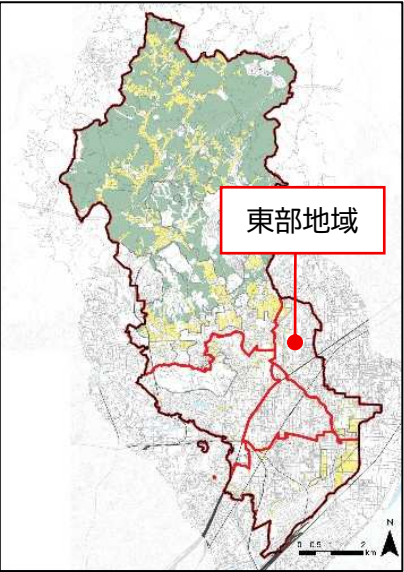
地域別みどりの特性・課題 / 3. 東部地域

■特徴と課題(概要)

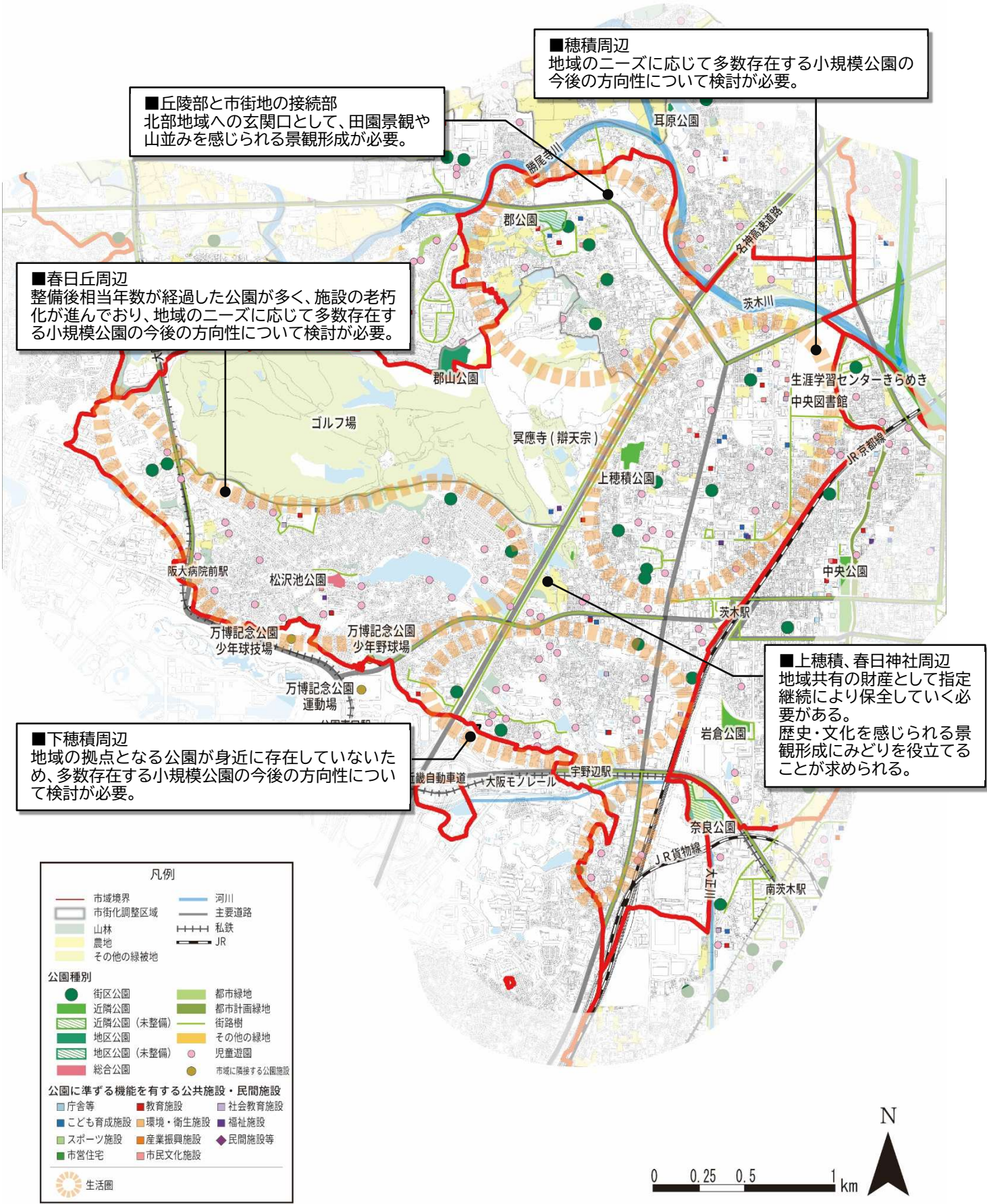
主に戸建住宅地や中高層の住宅団地といった住居系の土地利用となっており、阪急以北では既存集落と新たなまちづくり事業により整備された地区が混在している。阪急以南では、都市公園がバランスよく配置され、大規模な住宅団地の緑や市街化調整区域内の農地などの緑資源が充実している。地域の西端には安威川が、地域を縦断する緑のネットワークとして存在し、西河原公園が本市のみどりの拠点の一つとなっている。一方で小規模公園が多数存在する区域もあるが、幹線道路や鉄道により地域が分断され、地域の緑の拠点となる公園へのアクセスが制限される地区も見られることから、既存の公園や他の緑資源をいかすことが求められる。

■特徴と課題(緑資源別)

緑資源	特徴	課題
①公園・緑地	●西河原公園は自然環境が豊富で生物の生息・生育環境として生物多様性の観点からも重要な場所であるとともに、グラウンドや防災公園としての機能も備わっている、本市代表する緑の拠点である。 ●阪急以南は白川地区や安威川を沿いには都市公園がバランスよく配置されているが、一部エリアでは公園が少ない。 ●既存集落の三島地区や太田地区では小規模公園が多数存在している。	●総持寺駅周辺や太田東芝地区での新たなまちづくりが進む中、隣接する西河原公園の魅力向上によるさらなるにぎわい拠点の形成が求められる。 ●地域のニーズも踏まえつつ、小規模公園の見直し(公園機能の特化や役割分担など)や公園以外の緑資源の活用について検討が必要。
②山地・丘陵	—	—
③里地里山	—	—
④河川・水路	●安威川が地域を縦断する水のネットワークとして存在している。	●水辺環境の保全、市民のレクリエーションの場としての利活用の促進が求められる。
⑤農地・ため池	●南端の市街化調整区域内には、まとまった規模の農地が存在し、広がりのある農地景観を形成しており様々な多面的な役割を担っている。	●市街化区域への編入、産業集積地への土地利用の変更による農地の減少が懸念される。 ●農業従事者の高齢化や後継者不足により、農地の適切な維持・管理が困難になる事態が予測される。
⑥まちなかのみどり	●UR 総持寺団地など大規模な住宅団地が複数立地しており、プレイロットやまとまった緑地などが存在。 ●JR 総持寺駅周辺(太田東芝町など)におけるまちづくり関連事業に合わせた新たな公園整、維持管理を実施	●緑の質の向上に向けて、公共施設や民間施設における敷地における緑化や利活用の促進が求められる。
⑦歴史・文化	●三島地区や太田地区では歴史的な街並みと屋敷の緑、神社の緑などが一体となって存在している。 ●太田茶臼山古墳が地域のシンボルとして存在している。	●地域共有の財産として保全していく必要がある。 ●歴史・文化を感じられる景観形成にみどりを役立てる。
⑧活動	●西河原公園において、市民ボランティア団体によるバラ花だんの維持管理を実施。 ●西河原公園において、市民参加型ワークショップを通じた公園利活用のアイデアの検討・実践の取組を実施。	●西河原公園において、これまでの市民活動の実績も踏まえながら、多様な環境を活かした利活用の促進による魅力向上が求められる。
⑨その他	●東雲運動広場などの公園以外のスポーツ施設が点在している。 ●丘陵地には、広大なオープンスペースとなっているゴルフ場とその周辺に残存する斜面林、冥應寺(辯天宗)の社寺林などの緑が存在している。	●公園に準じる機能を持つ各種施設を活用して、不足する機能を補うことについて検討が必要。 ●生物多様性保全の観点などから、隣接する万博公園と合わせてまとまった緑として保全を図ることが求められる。



地域別みどりの特性・課題 / 4. 西部地域



松沢池公園



上穂積公園



松沢池(都市計画公園区域)



小規模公園(春日丘)



万博記念公園少年野球場



万博記念公園少年球技場

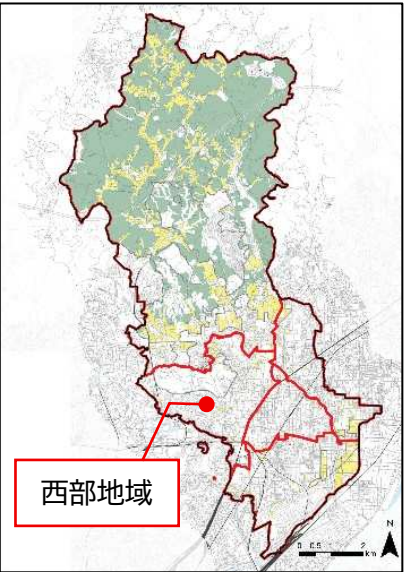
地域別みどりの特性・課題 / 4. 西部地域

■特徴と課題(概要)

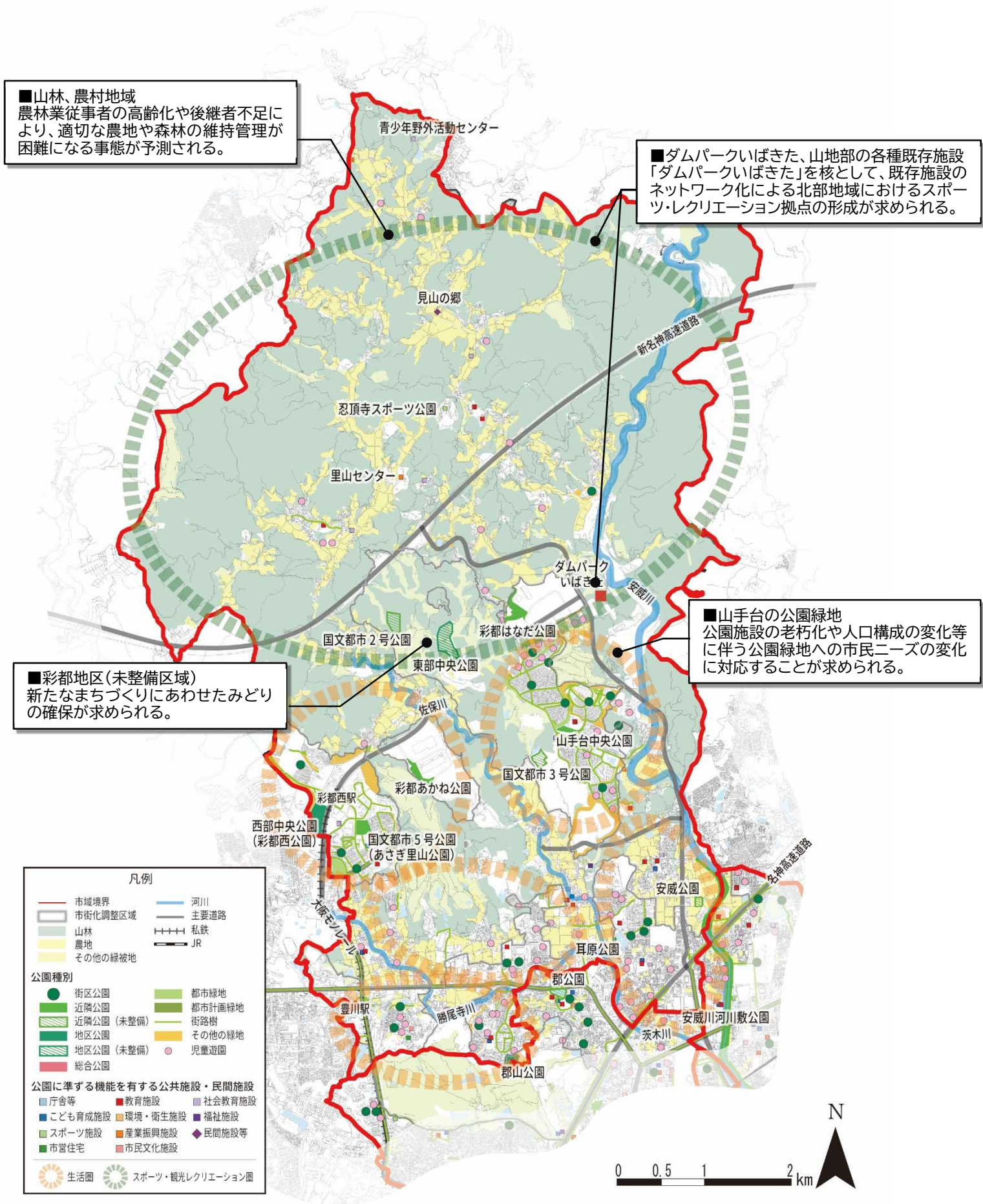
丘陵部に戸建の低層住宅地が広がり、駅周辺には中高層の住宅が混在する、住居系の土地利用を主体とした地域である。上穂積公園や松沢池公園などが地域の緑の拠点として存在しているが、その他は小規模公園の配置状況に偏りがあるため、身近な場所に公園が無い場所もみられる。特に、春日丘地区では都市公園がほとんど存在せず、宅地開発とともに整備された小規模公園が点在しているのみとなっており、地域のニーズを踏まえた公園のあり方について検討が必要である。

■特徴と課題(緑資源別)

緑資源	特徴	課題
①公園・緑地	●既存集落や比較的早期に宅地が整備された春日丘では都市公園が少なく、その後の小規模な宅地開発等とあわせて整備された<u>小規模公園</u>が多数存在している。 ●近隣公園クラス以上の公園は<u>松沢池公園</u>と<u>上穂積公園</u>のみであり、地域の拠点となる公園が限られている。 ●総合公園として都市計画決定している松沢池公園は一部未着手の区域が残っている。	●地域の拠点となる公園が限られており、生活圏によっては身近に存在していない。 ●春日丘では整備後相当年数が経過した公園が多く、施設の老朽化が進んでおり、地域のニーズに応じて多数存在する小規模公園の今後の方向性について検討が必要。 ●長期未着手の公園について、今後の方針について検討が必要。
②山地・丘陵	●地域の北側に位置する丘陵部では、まとまった<u>樹林地</u>などのみどりが存在している。	●都市部における貴重な樹林地として、適切な維持管理により安全面を確保しつつ保全していくことが求められる。
③里地里山	—	—
④河川・水路	●南側を流れる<u>大正川</u>は水辺のネットワークとして存在している。 ●大正川の河川敷には遊歩道が整備され、身近な水辺環境となっている。 ●北側の地域境界部には<u>勝尾寺川</u>が流れており、河川沿いに樹林などのみどりが存在し、貴重な水辺のネットワークとして存在している。	●生物多様性保全、レクリエーション、防災等の多面的な機能を発揮させるため、水辺環境の保全や利活用の促進が求められる。
⑤農地・ため池	●既存集落周辺において、<u>生産緑地</u>が点在して残る。 ●中穂積地区に農地が残る。	●生産緑地の指定継続等による都市農地の確保が必要である。
⑥まちなかのみどり	●春日丘地区の低層住宅地では<u>戸建住宅の庭木</u>などみどりが充実している。 ●地域の西端に位置する大阪大学などの敷地内では、斜面地の樹林が残っている。 ●国道171号沿いは、丘陵部と市街地部の境界部となっている。	●住宅の更新に伴い、敷地内緑化などによるみどりの確保が求められる。 ●丘陵地の斜面地に残る樹林は都市部における貴重な樹林地として保全が求められる。 ●北部地域への玄関口として、田園景観や山並みを感じられる景観形成が必要。
⑦歴史・文化	●上穂積では<u>歴史的な街並みと屋敷の緑</u>、<u>神社の緑</u>などが一体となって存在している。 ●<u>春日大社</u>には歴史を感じさせる地域のシンボルとなる社寺林が存在。	●地域共有の財産として保全していく必要がある。 ●歴史・文化を感じられる景観形成にみどりを役立てる。
⑧活動	—	—
⑨その他	●公園に準ずる緑資源として、市外だが大阪府管理の万博公園のグラウンドなどが存在。	●身近な公園が限られる中、公園に準ずる機能を有するみどり資源の活用も含めて、緑のネットワーク化が求められる。



地域別みどりの特性・課題 / 5. 北部地域



ダムパークいばきた



彩都西公園



郡山公園



あさぎ里山公園



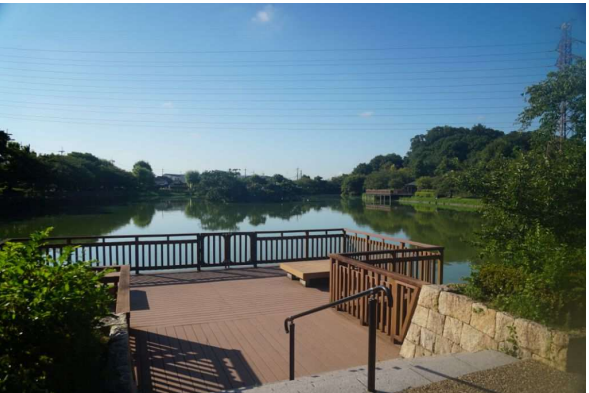
彩都あかね公園



彩都はなだ公園



山手台中央公園



耳原公園

地域別みどりの特性・課題 / 5. 北部地域

■特徴と課題(概要)

北摂山系の山林が広がり、山あいには農地と集落が一体となった豊かな田園景観が残る、自然豊かな地域。安威川ダム周辺では、ダムパークいばきたが新たに整備され、山とまちをつなぐハブ拠点としての役割が期待されるとともに、既存施設のネットワーク化によるスポーツ・レクリエーション拠点の形成が求められている。また、山手台地区や彩都西部地区では、都市公園が計画的に整備されるとともに、住宅地の敷地内緑化や街路樹による緑豊かな住環境が整備されている。しかし、公園施設や樹木の老木化などに伴いみどりの適切な維持管理が課題となっている。

■特徴と課題(緑資源別)

緑資源	特徴	課題
①公園・緑地	●安威川ダム周辺に「<u>ダムパークいばきた</u>」が整備され、山とまちをつなぐハブ拠点としての役割が期待されている。 ●彩都地区や山手台地区では、市街地整備にあわせて計画的に公園・緑地が整備され、彩都西公園や山手台中央公園などの地域のみどりの拠点となる公園が存在している。 ●丘陵部では、小規模な宅地開発にあわせて整備された児童遊園が多数存在している。	●「ダムパークいばきた」を核として、山地部に点在する既存施設のネットワーク化による北部地域におけるスポーツ・レクリエーション拠点の形成が求められる。 ●山手台における公園施設の老朽化や人口構成の変化等に伴う公園緑地への市民ニーズの変化に対応することが求められる。
②山地・丘陵	●北摂山系がもたらす自然豊かな山林が中心市街地からわずか 30 分程度の場所に広がり、平地部からも望むことができる印象的な山並み景観を形成している。 ●茨木自然歩道が 60km 以上設定され、自然環境とふれあえるレクリエーションの場となっている。	●彩都地区の市街地開発によるみどりの減少は、市民のみどりに対する印象にも影響している。(市民アンケート結果より) ●都市部から身近な自然環境を健全な状態に保ち、活用していくことが望まれる。
③河川・水路	●本市を南北に縦断する安威川と安威川ダムが本市のみどりの軸として、また、その他にも佐保川、勝尾寺川といった河川が水辺のネットワークとして存在している。 ●これらの水辺環境は、生物の生息・生育環境として、また、市民が自然とふれあえる貴重な自然環境として存在している。	●水辺環境の保全、市民のレクリエーションの場としての利活用の促進が求められる。
④里地里山	●北部の山あいでは、里地里山と一体となった美しい農村景観が広がっている。また、農産物の生産やレクリエーションの観点からも貴重な環境となっている。	●有害獣による農作物被害への対策が必要である。 ●自然環境や集落環境の適切な維持保全が必要である。
⑤農地・ため池	●既存集落とともに農地が広がり、豊かな農村景観を形成している。 ●大都市に近い立地を活かした近郊農業が行われている。 ●農地は農産物の生産だけでなく、景観形成等様々な多面的な役割を担っている。 ●山地部と中心市街地を結ぶ丘陵部では、市街化調整区域内などにまとまった農地が点在している。	●農業従事者の高齢化や後継者不足により、農地の適切な維持・管理が困難になる事態が予測される。
⑥まちなかのみどり	●山手台や彩都西部地区の低層住宅地では、地区計画に基づく敷地内緑化などにより、みどり豊かな住環境が形成されている。 ●山手台、彩都西部地区では幹線道路を中心に街路樹が整備され、環境改善や地域のシンボルとなる景観を形成している。	●今後も予定されている彩都地区における新たなまちづくりにあわせたまどりの確保が求められる。 ●街路樹のもつ環境改善、景観形成、防災など様々な機能を発揮できるよう、適切な維持管理が求められる。
⑦歴史・文化	●阿為神社のシイ林(環境省指定の特定植物群落) ●旧西国街道沿いなどの既存集落のみどり	●地域共有の財産として保全していく必要がある。 ●歴史・文化を感じられる景観形成にみどりを役立てる。
⑧活動	●ボランティア団体等による環境教育や里地里山の保全に関する活動の実施、「里山サポートネット・茨木」による保全活動が行われている。	●里地里山環境の保全にむけて、市民参画による活動継続が求められる。
⑨その他	●忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘などのレクリエーションの場、見山の郷、キリシタン遺物史料館などの施設が立地。	●「ダムパークいばきた」を核として、既存施設のネットワーク化による北部地域におけるスポーツ・レクリエーション拠点の形成が求められる。

